

令和6年度 根室地区の研究活動

研修部 中標津町立中標津小学校

中山 生欧

1 はじめに

根室管内には、小学校 19 校・中学校 15 校・義務教育学校 5 校があり、義務教育学校の増加により、昨年度から「根室管内小中学校校長会」という名称を「根室管内校長会」と変更し、1 市 4 町 39 名の会員で組織している。

年 1 回、校長研究大会を開催し、会員全員が会同して、会員相互の連携・協働の下、当地区の児童生徒の「しなやかにたくましく生きる力」を育む学校教育の推進や学校経営の向上に努めている。

来年度も 2 校の統合が決まっており、会員数が減少していくが、「自分の力を『ひろげる』、決断と納得感を共有するために『そろえる』、様々な人と『つながる』」を校長会のキーワードとし、横の連携を大切にしながら管内教育の改善・向上を図るために研鑽に努めている。



令和6年度 根室管内校長研究大会

2 研究計画

(1) 研究の方針

- ① 「生きる力」「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人材育成を目指し、組織的に研究と修養に努める。
- ② 道小、道中、根室管内単位校長会、根室管内市町教育委員会、根室教育局等との連携を図る。

(2) 研究主題 「根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ

社会に開かれた学校教育の創造」

学校教育においては、教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、児童生徒に未来を創りだしていくために必要な力を育む必要がある。また、学習指導要領においては、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携協力しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現の大切さについても述べている。

このことを踏まえ、私たちは根室の地に刻まれた深い歴史と先人の志を継承し、生涯学習社会における学校教育の望ましい在り方を校長という立場から究明し、充実した学校経営を推進するために上記の研究主題を設定した。

本年度は、5 年継続研究の最終年次として、研究内容の共通理解を深め、諸課題の解決を目指す。また、全国・全道大会における提言や参加につながるよう研究協議を重視する。

(3) 活動計画

① 根室管内校長研究大会の開催

○会場 中標津町トーヨーグランドホテル

○期日 令和6年8月23日（金）午後開催

令和4年度より地区教育経営研究大会と併せ、1 日日程で実施している。

② 全道・全国研究大会への参加

○道小空知・岩見沢大会：令和6年9月13日～14日

○道中十勝・帯広大会：令和6年9月27日～28日

提言発表「家庭・地域や校種間における連携・協働の推進」

(別海町立上西春別中学校校長：蝦名武宣校長)

○全日中岩手大会：令和6年10月17日～18日

○全連小徳島大会：令和6年10月24日～25日

3 研究活動の概要

(1) 分科会の構成

令和2年度より、道小は5領域13分科会、道中は五つの分科会で研究を推進している。根室管内校長会では、これまで4つの分科会で充実した協議を行ってきたことから、今後も以下3点を踏まえて、「教育課題」「組織・運営」「指導・育成」「教育課程」の4分科会を設定し考究する。

① 小学校・中学校で協働的な問題解決が図れるようにする

② 道小・道中の研究領域や分科会の内容を網羅する

③ 全国・全道での提言発表との関連を図る

また、校長研究大会における各自のレポートを踏まえた研究協議の成果を全道・全国提言の基軸としている。

(2) 一人1レポートを踏まえた研究協議

A4用紙1枚に、表面にはレポートを、裏面には学校経営方針概要を記載する。

○第1分科会「教育課題」

研究課題：家庭・地域や校種間における連携・協働の推進における校長の在り方

視点①地域や関係機関等との連携による学校経営の充実を目指した取組の推進

視点②教職員の意識改革、関係機関と連携した人材育成による指導力の向上を目指した取組の推進

○第2分科会「組織・運営」

研究課題：学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方

視点①学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築

視点②活力ある運営を実現するための組織の活性化

○第3分科会「指導・育成」

研究課題：これからの学校運営を担うリーダーの育成と校長の在り方

視点①社会の変化に主体的に関わり、自ら学び続ける管理職人材の育成

視点②地域と連携・協働した学校経営に携われる教員の育成

○第4分科会「教育課程」

研究課題：「社会に開かれた教育課程」の実現

視点①子どもの心身の発達の段階や特性の把握と教育課程への反映

視点②学校や地域の実態に即した適切な教育課程の編成・実施

4 おわりに

管内校長研究大会に向けてのレポートは、校長会・教頭会それぞれの研究の視点と、根室教育局が示す「管内教育の推進の重点」を包括的に関連付け執筆することになっている。この取組により「研究の内容と実践が管内教育の推進に寄与する」「校長会と教頭会が連携しながら喫緊の教育課題に対する具体策を見だし、管内に広く啓発する」ことで、各校の学校経営・運営に活用することを可能とし、校長の学校経営力、教頭の学校運営力の向上を図っている。

学校には、変化の激しい社会を力強く生き抜く人材の育成が求められている。今後も会員相互の連携を深め、教育の本質を見失うことなく、しなやかに社会の変化に対応する校長としての職能向上と教育課題の解決を目指して活動を推進していきたい。